

保護者の皆様へ

3年ぶりの学芸会を終え、今週の子供たちはやりきった達成感と、そして学芸会が終わってしまったさみしさと両方が感じられました。日計表を届けにくる日直の子供たちに学芸会のことを聞くと、「楽しかった。」「もう一度やりたい。」「歌が頭から離れなくて」など学芸会の余韻に浸っている様子が伝わってきました。私も子供たちの劇を見て、本当に楽しかったです。そして子供たちのもっている力の素晴らしさを改めて感じたところです。本番に向けて、子供たちの最後の伸びは素晴らしかったです。それが学芸会当日、どの子も精一杯表現した演技に現れていました。初めての学芸会を終えた1年生は絵日記に次のように書いていました。



- ・くじらぐものげきで、みんながんばっているから、じぶんもしあわせになりました。こんどの学ばいもがんばりたいです。
- ・おきゃくさんがいっぱい、うれしかったです。またげきをやりたいです。うたごえも大きく、はっきりうたえました。
- ・ともだちががんばっているから、じぶんもがんばれました。
- ・れんしゅうのせいかを出せました。大きなこえを出せました。たのしいきもちです。

1年生はこの劇を通して感じたこと、そして学んだことを具体的に振り返ることができていました。そして一緒に演じた友達のよさに気づき、自分の心で感じたことを素直に表現しています。これは1年生だけではありません。どの学年の子供たちも学芸会を振り返り、様々な気づきがありました。これが子供たちの価値ある学びです。劇の演技が上手になったことだけではありません。続けて努力すること、友達と協力することの大切さ、友達と一緒に1つのものを作り上げる楽しさ、素晴らしさを体験することができました。これからの子供たちの人生にとって大事なことが学べたと思います。

保護者鑑賞日に緊急メールでもお伝えしましたが、この度は学芸会の実施にあたり、配布した座席が重複していたという運営上の不備があり、大変ご迷惑をおかけしたことを重ねてお詫びいたします。子供たちのがんばる姿を保護者の皆様に喜んで見ていただけるよう、細心の注意を払って準備に努めていくことを全職員で確認いたしました。今後ともご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

令和3年12月10日

大森第一小学校 校長 尾上 健二